東九州自動車道の整備効果⑦

今後、椎田南IC～豊前ICが開通すれば、椎田南ICから一般国道10号を経由して豊前ICに行かれる場合に比べ、約10分の時間短縮が図られます。
また、一部の交通量が転換されるため、一般道の交差点等で渋滞緩和や交通安全に寄与します。



○繁忙期（ゴールデンウィーク）の混雑状況



・東九州自動車道は、昨年度末の豊前IC～宇佐IC及び新直轄区間の佐伯IC～蒲江IC間の新規開通により、当該区間を除き、北九州市から宮崎市が開通しました。その結果、今年のゴールデンウィークでは、高速をご利用されたお客様のうち、5/3～5/6で約8，400台/日（※）のお客様が、当該区間を一般道を介して利用されました。また、当該区間の付近で一般道を含めた交通混雑がみられ、5/3～5/5に、椎田南IC付近の一般国道10号（南行き）の中村交差点から、東九州自動車道の本線にわたり6～9km程度の渋滞が発生しました。（※）非ETC車は含まれておりません。
・当該区間が開通することにより、一般道を介すことなく連続して東九州自動車道の利用が可能となり、一般道の混雑緩和に寄与することが期待されます。